

議 事 概 要

会議名	平成29年度 第13回 海津市地域公共交通会議
日時	平成29年5月29日（月） 14：30～15：30
場所	海津市役所東館 4階 災害対策本部室
出席者	委員19名 輪之内町1名・羽島市2名 事務局4名・ランドブレイン(株)1名
議題等	議題1 平成28年度決算について 議題2 平成29年度予算(案)について 議題3 海津市コミュニティバス利用状況について（報告） 議題4 海津市コミュニティバス運行見直し（案）について 議題5 平成30年度生活交通確保維持改善計画(案)について 議題6 海津市地域公共交通網形成計画の数値目標見直しについて（案） その他

協議・報告事項

会長の選任、副会長及び監事の指名について

○会長に福田副市長を選任

○会長から副会長、監事を指名

・副会長 自治連合会長 宮脇委員

・監 事 海津市議会議長 森委員
海津市老人クラブ連合会長 森委員

【議題1】平成28年度決算について

○事務局から説明（資料1に基づき説明）

・平成28年度決算について

○監事から監査報告

質疑等なし

○原案のとおり承認。

【議題2】平成29年度予算(案)について

○事務局から説明（資料2に基づき説明）

・平成29年度予算（案）について

質疑等なし

○原案のとおり承認。

【議題3】海津市コミュニティバス利用状況について（報告）

○事務局から説明（資料3に基づき説明）

- ・海津市コミュニティバスの利用状況について

○委員からの質問・回答、意見等

- ・デマンドの予約状況について、資料3—1（7ページ）予約のお断り状況で、効率的な車両運用が行われていると記述がありますが、このように減少してきたことについて対策をしてきたためにこの結果になったのか、特に対策なしで結果がでたのか？

→平成27年の10月からはじめたので、システム設定上の関係で、1時間당りに車を配車できる間隔が長かったものを短くし、車が他のお客様を乗せやすいようにした。これが1つの要因と考えています。あとは、電話を受けて実際に対応に当たるオペレーターさんが業務に慣れてきたため、配車を効率よく行っただけでいることも要因の一つ。最大の要因と考えているのは、半年くらい過ぎて、一定のお客様がわかってきたので、同じ地区から目的が同じときには、1台でお客様に多く乗っていただくようお願いをし、効率化を図っていることです。

- ・利用者に乗車をあきらめさせるようにはなっていないと理解してよいですか？

→全くないわけではないですが、なるべく予約を断ることがないように努めています。

- ・利用者数が年々減ってきているのに、土日の運休が影響しているということでしたが、対策としてこれが一番に挙げられるのであれば、土日の運休をやめて、運行することを考えているかどうか？

また、定時定路線で高校生の利用者が減少したことに関して、始発と最後の便の間の本数が少ないので、結局定期券を購入しても親が送ることになった、ということも聞いているので、高校生のことをもう少し考えて、乗降者数が多い時間帯の本数を調べて増やすことを考えているか、お聞きしたいです。

→デマンドの土日の運行については昨年度から課題になっておりますが、試行運転という形でやっていき、どのような影響があるのか調査してみたいと考えています。

2つ目のご質問に関して、特に始発の運行については、現状3路線で高校生の始発をカバーしているつもりですが、土日の部活の生徒をカバーする形で、土日の朝一番の便を運行しようと考えています。また、養老鉄道さんへの乗継については、不便であると認識しております。高校生の利用状況を把握する上でも調査していきたいと考えており、それを踏まえて必要であれば、定時路線も組んでいきたいです。予算もかかってくるので、その点も考慮して検討していきます。

- ・利用者数を上げていこうという目標をもってみなさん考えてきたと思います。それが減ってきているので、その原因を分析してほしい。

【議題４】海津市コミュニティバス運行見直し（案）について

○事務局から説明（資料４に基づき説明）

- ・運行ダイヤ・ルート改正（案）について

○関係市町の意見

- ・海津市運行ダイヤ変更案を受けて、輪之内町コミュニティバスのダイヤ変更を行う予定。（輪之内町）
- ・協議しているので特に問題はない。（羽島市）

○委員からの質問・回答、意見等

- ・デマンド運行の土日の運行要望があり、経費の増加につながると記載されていますが、予約のあるときだけでも土日運行していただければ、土曜日に通院している方等に対して良いのではないかと？

→土日の運行に関しては、当日の予約受付を受けない予定であり、金曜日までの事前予約のみ運行を考えています。土日の予約受付にはオペレーターさんの人件費等の経費が主な理由。

- ・市のバスを養老線ダイヤに合わせていただけたということだったのですが、それでよろしいか。桑名にいくのに、電車とバスが時間的にうまく接続していないので、１時間も待つことになっているということを知っており効率が悪いのでは？。

→養老鉄道への乗継は、海津羽島線のダイヤP11に記載しており、以前は30分なり40分でしたが、15分程度に変更しております。これにより乗り継ぎの時間効率が向上していると考えています。ただ、南幹線については、石津駅で桑名方面はあっても、大垣方面はあっていないというように、完全ではない。

- ・いろいろ調査されて１つずつ改善しているということは伝わってきます。高齢者の方は免許証を返上すると、どこにも行けなくなってしまうと聞いています。このような問題を解決していくためにも、さらなる改善を期待しております。

- ・海津羽島線の石津駅発の7便ですが、ダイヤ変更案では石津駅を10時31分発になっているが、現行のダイヤはもう少し前の10時17分となっております。観光で10時頃から観光したいと思う方は多く見えると思われますが、新しい案ですと桑名方面からの方は待ち時間が短いですが、大垣方面からは24分から38分に長くなっています。他の便に関してはそれほどでもないですが、たとえば、お千保稲荷に行く際に30～40分待つのは大変であります。なんとかならないものか。

→ご指摘頂きました点は、現行のダイヤから新ダイヤに変わるところで一番苦しくなる場所。ただ、石津方面の帰りの便の乗り継ぎが良くなっているので、どちらをとるかの問題です。しかし、待ち時間が長くなってしまったことは一番苦しいことにかわりはありません。なかなか全ての便を効率よく繋ぐことは難しい。特に大垣方面からいらっしゃる方の市内の観光は10時台が多いこともあるので、9時台、11時台前後の便を紹介させていただこうかなと考えている。

・お千代保稲荷線ですが、羽島市部分を走るの、警察の所管が変わってくるので、この点に関して、羽島市さんのほうでも協議をお願いしたい。
羽島市→ご指摘の件に関しましては、第二回の公共交通会議を6月23日に予定しておりますので、そちらで議題として挙げる予定。

○原案のとおり承認。

【議題5】平成30年度生活交通確保維持改善計画(案)について

○事務局から説明（資料5に基づき説明）

・平成30年度生活交通確保維持改善計画（案）について

○委員からの質問・回答、意見等

・補助要綱に基づいてこの計画案をつくっていただいておりますが、実は4月に新たな要綱が出される予定でしたが、まだ示されてないので、その要綱が発表され次第、若干の修正をお願いする予定。

○原案のとおり承認（修正も踏まえて承認）

【議題6】海津市地域公共交通網形成計画の数値目標見直し(案)について

○事務局から説明（資料6に基づき説明）

・海津市地域公共交通網形成計画の数値目標の見直し（案）について

○委員からの質問・回答、意見等

・目標としている3%上げるという数字がどこからでてきたのか。赤字をなくすためや、高齢者に利用してもらおう為であるのならあり得るのかもしれませんが、そのような事情を考慮して計算されているのかなと疑問に思っています。以前は13万5千人の目標であったけれども、達成できなかったため、今度は土台を変えて、数字の語呂合わせで、ただ3%上乗せしただけであるのならおかしいなと思っておりますが、どのようにお考えでしょうか。

→当初の見込みが甘かった。以前は、土日利用されていた方が多くいましたが、その方々に全然乗ってもらえなかったために、乗車人数が減少している。大きな再編をし、人口減少等があるにも関わらずこれまでの数字を用いており、それが13万5千人でありました。しかし、実際やってみると逸走率が高かったもので、H28年度の実績の11万から減らないように頑張ってやっていきたいと考えている。

利用者を増やすため、自治会のハイキング等のイベントにバスを使用していただくことなどがあります。以前40人規模でバスを使用していただくことがあり、バスの定員は20名だったので、増発便を運行いたしました。このような事例を増やしていくことで、利用者を増やしていこうと考えている。

・利用者を減らさないようにすることはわかりました。赤字が増えているので、その点を考えて設定したのかなと思っておりましたので、私の頭の中では整理ができておりませんでした。やはり、そういったものを利用していただくためには、幅広い宣伝が必要であると考えます。数字の設定だけではなく、実態を伴った活動をやってほしい。

・公共交通網形成計画の数値見直しによって、他の部分は大丈夫かという意見が出る可能性があると感じます。養老線でも網形成計画がつくられようとしておりますが、これとの整合性はどのように考えているか。

→養老線の網形成計画は策定に向けて進んでいる。本年2月に網形成計画の骨子が承認され、明後日の31日の協議会で素案が提案される予定。その素案について各市町がパブリックコメントを実施することになり、年内に策定する予定である。海津市と養老線の網形成計画との整合をとる必要があり、養老線の網形成計画が策定された段階で、海津市の計画も整合を図っていく必要があります。

その他

○事務局から報告

養老鉄道については、先ほど報告させていただきましたが、素案について7月からパブリックコメントを実施する予定です。養老鉄道に関する網形成計画と鉄道事業再構築実施計画につきましても、年内に国の認定が得られるよう進めております。

それから、観光については、商工観光課が中心となって海津市の観光計画を策定するというので、今日ご出席の養老鉄道さんや名阪近鉄さんに参画いただいて、周遊ルートの確立等に向けて進めているので、次回の会議に報告できればと思っています。

次回の会議ですが、緊急の議題がなければ、平成30年1月頃に予定。

○委員からの質問・回答、意見等

・養老鉄道さんにお聞きしたいのですが、コミュニティバスを利用した場合、石津駅から観光で見える方はおそらく初めてであると思いますが、停留所の案内が小さくわかりづらく思います。そして、ロータリーで待っていらっしゃるのですが、ロータリーにバスは乗り入れません。ロータリーの中にバスが乗り入れるのは無理なのか、お聞きしたいです。それと、駅舎の中の表示なのですが、乗り場が少し離れているので、駅舎の中で待っている間には、時刻表を見て時間調整できることがあっても良いのではないかと思います。また、観光の周遊ルートについてですが、私は実際にお千保稲荷と海津温泉を巡るルートを経験したことがあります。観光ルートとして養老鉄道とコミュニティバスをつかった周遊ルートは案外よいのではないかと思います。

→（養老鉄道）案内が小さいということなので、もう少し分かりやすい工夫を行いたく思います。たしかにロータリーから少し離れたところに乗り場があり、見えないので、明確にわかるようにしたいと思います。駅舎の中で時間調整できるようにするには、ダイヤを表示した方がよいと思うので、そのあたりも検討したいと思います。もう一点ロータリーに入れるかどうかはバスの大きさ等もありますので、改めて確認したいです。

周遊ルートにつきましては、乗り継ぎの待ち時間が15分以内程度であるとよいという話もありましたが、出来るだけ効率良く乗り換えできるようになればと思います。

→バスがロータリーへ乗り入れることは当初検討していましたが、電車待ちの車が多くあるので、バスのサイズも考えると現実的に難しく、転回ができないということで今のままになっているという経緯がございます。ご了承下さい。

閉会